



全日本新体操チャイルド選手権  
ルールについて



2015FIG 新体操女子採点規則が出たことによりまして、チャイルドルールについても多少の変更を加えております。変更箇所は赤文字で記載されておりますので、ご確認下さい。

# 5・6年生の部のルール

ルール	FIGルールを採用します。 * 特別減点項目があります。(詳細下記)				
競技方法	得点により順位を決定します。 (予選上位 35 名が決勝進出、予選得点+決勝得点で総合順位を決定します。)				
審判員	FIGルールに則る(帯同審判制)				
予選/決勝	予選種目  リボン より上位 35 名が決勝へ進みます 決勝種目  クラブ 予選得点+決勝得点 = 総合順位				
予選通過順位	上位 35 名				
表彰方法	予選+決勝得点上位 8 名 並びに特別賞(例: 音楽が年齢的や演技の内容、選手の雰囲気になさわしい)				
手具	予選種目  リボン / 決勝種目  クラブ (手具点検を行いません。但しリボンは5m以上にてお願いします。)				
音楽	自由(歌詞あり可) * 選手が自分で選ぶようにして下さい。 * 年齢的な事、演技や表現などに合せて選手でも理解できる曲にしてください。				
衣装	FIGルール * 選手が自分で選ぶようにして下さい。				
演技時間	1 分 30 秒以内				
フロア	13m × 13m				
難度について	<p>難度価値の上限はありません。 ジャンプ × 左右、バランス(バランス・柔軟) × 左右、ローテーション(ピボット・柔軟) × 左右 = 計 6 個(左右同難度)+ダンスステップ 8 秒以上を入れて下さい。 (ダンスステップ: ・8 秒間以上のテンポ、リズム、音楽的なアクセントとの一致。 ・社交ダンス的なステップ、民族舞踊、モダンダンス等。)</p> <p>* ローテーション床上 #7 は、動脚で左右を見分けます。 * 後ろに脚を持った難度は、全て銅の後屈のグループに属します。</p> <p>* 特別減点項目</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: #ADD8E6; width: 20%;">音楽減点</td> <td>小学生になさわしくない曲、演技や選手の雰囲気になっていない音楽は減点となります。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #ADD8E6;">難度の多様性減点</td> <td>フォームの偏りは減点となります。 (例: * バランスで後足もちバランスを左右使用した場合、胴の後屈を伴うジャンプや後ろ脚もち、MG キックなどのバランスおよびローテーション(左右)は使えません。)</td> </tr> </table>	音楽減点	小学生になさわしくない曲、演技や選手の雰囲気になっていない音楽は減点となります。	難度の多様性減点	フォームの偏りは減点となります。 (例: * バランスで後足もちバランスを左右使用した場合、胴の後屈を伴うジャンプや後ろ脚もち、MG キックなどのバランスおよびローテーション(左右)は使えません。)
音楽減点	小学生になさわしくない曲、演技や選手の雰囲気になっていない音楽は減点となります。				
難度の多様性減点	フォームの偏りは減点となります。 (例: * バランスで後足もちバランスを左右使用した場合、胴の後屈を伴うジャンプや後ろ脚もち、MG キックなどのバランスおよびローテーション(左右)は使えません。)				
会場入場	メインフロアに入場できるのは選手及び音楽係り(選手・中学生以下)のみとなります。				

# 3・4年生の部のルール

ルール	FIGルールを採用します。 * 特別減点項目があります。(詳細下記)
競技方法	得点により順位を決定します。 (予選上位 35 名が決勝進出、予選得点+決勝得点で総合順位を決定します。)
審判員	通常より、人数を減らして行います。(帯同審判制)
予選/決勝	予選種目 ● ボール より上位 35 名が決勝へ進みます 決勝種目 U ロープ 予選得点+決勝得点 = 総合順位
予選通過順位	上位 35 名
表彰方法	予選+決勝得点上位 8 名 並びに特別賞(例:音楽が年齢的や演技の内容、選手の雰囲気にかわいい)
手具	予選種目 ● ボール / 決勝種目 U ロープ (手具点検を行いません。ボール等はサイズが小さい物でも可能です。)
音楽	自由(歌詞あり可) * 選手が自分で選ぶようにして下さい。 * 年齢的な事、演技や表現などに合せて選手自身が理解できる曲にしてください。
衣装	FIGルール * 選手が自分で選ぶようにして下さい。
演技時間	1 分以内
フロア	13m × 13m
難度について	<p>難度価値の上限はありません。</p> <p><b>3・4年生の部では、徒手難度は単独のみ</b></p> <p>ジャンプ×左右、バランス(バランス・柔軟)×左右、ローテーション(ピボット・柔軟)×1 個 = 計5個+ダンスステップ 8 秒以上を入れて下さい。(3・4年生の部では、ユニットは禁止) (ダンスステップ:・8 秒間以上のテンポ、リズム、音楽的なアクセントとの一致。 ・社交ダンス的なステップ、民族舞踊、モダンダンス等。)</p> <p><b>* ローテーション床#7は、動脚で左右を見分けます。</b></p> <p><b>* 後ろに脚を持った難度は、全て銅の後屈のグループに属します。</b></p>
* 特別減点項目	
音楽減点	小学生にかわしくない曲、演技や選手の雰囲気にかわいていない音楽は減点となります。
難度の多様性減点	フォームの偏りは減点となります。 (例: * バランスで後足もちバランスを左右使用した場合、胴の後屈を伴うジャンプや後ろ脚もち、MG キックなどのバランスおよびローテーション(左右)は使えません。)
会場入場	メインフロアに入場できるのは選手及び音楽係り(選手・中学生以下)のみとなります。



# キッズコンテストの部のルール



ルール	個人で行う自由演技にします。 *楽しく自由に振付して下さい。
競技方法	審査委員による、コンテスト
予選／決勝	ありません。 但し、入賞者はチャイルド選手権・決勝日にエキシビションを行って頂きます。
表彰方法	コンテスト受賞
手具	自由にお使い下さい。(手具を使用しても、しなくても可・新体操の手具でなくても良いです。)
音楽	自由(歌詞あり可) *選手が自分で選ぶようにして下さい。 *年齢的な事、演技や表現などに合わせて選手自身が理解できる曲にしてください。
衣装	自由(着ぐるみも可) *選手が自分で選ぶようにして下さい。
演技時間	1分以内
フロア	13m × 13m
難度について	ありません
会場入場	メインフロアに入場できるのは選手及び音楽係り(選手・中学生以下)のみとなります。

《ルール補足事項》

(1) 難度

- ① 3・4年生は、ジャンプ・バランスは左右同難度で行うこと。  
ローテーション難度は左右どちらか1つでよい。  
難度には、手具操作を伴うこと。(2015FIG 新体操女子採点規則 p 12 1.3.1.各手具の基礎技術グループとその他の技術グループ一覧を参照のこと)
- ② ダンスステップコンビネーションは最低1つ入れること。  
手具操作を伴うこと(添付一覧表を参照)
- ③ 難度価値の上限はないので価値点が1.0を超えても良い。(チャイルド特別ルール)
- ④ 難度の前と後ろに  (回転)  (波動)、難度中に  (スローターン) をつけると0.1の価値を上げることができる。

(例) 後方ブリッジ +  $\overline{F}$  = 0.10 + 0.50 = 0.60 となる。

\*上記の追加の要素を難度と組み合わせて使う場合は、左右で行うこと。  
また、直結していること。

- ⑤ バランスは、踵をつけた状態で実施することができる。  
その場合の価値は0.10下がる。この場合のシンボルは、下方の↓を書き加える(例:  $\downarrow\overline{F}$  = 0.4)

(例) 後方ブリッジ +  $\downarrow\overline{F}$  = 0.10 + 0.40 = 0.50 となる。

\*踵を下げて行う場合は、左右共に下げて行うこと。

⑥ 難度の使用について

- ・ 難度価値の上限はなし。2つ以上の難度を組み合わせることが出来る。

<組み合わせ方>

- ① 組み合わせる場合は、軸足を変えてはいけません。
- ② 左右差のない難度を組み合わせることはできません。
- ③ 右とは、ジャンプの前足が右、バランスの動足が右、ピボットの動足が右

<左右差のない難度の例>

ジャンプ

- NO. 2のアーチ 0.1
- NO. 4両脚とびの左右開脚ジャンプ 0.2 と 0.3
- NO. 6リング 0.4

バランス

- NO. 6の床でのお腹支持の背筋難度 0.1・0.2・0.3
- NO. 7の蛇動 0.1・0.3
- NO. 8の胸支持のバランス 0.4

## (2) $R$ (回転と投げを伴ったダイナミック要素)

- ① 5・6年生は最高3つまで入れることができる。もしくは入れなくてもよい。
- ② 3・4年生は最高1つ入れることができる。もしくは入れなくてもよい。

- ③  $R$  の一部として回転要素は、単独または2つ以上のシリーズにて一度だけ使用できる。

(例) 1つ目の  $R$  で、「シェネ×2+前転」を行った場合、2つ目、3つ目の  $R$  では、シェネと前転は使用できない。

\*申告方法は、付録を参考にしてください。

<付録>

- ① 「各手具の基礎技術グループとその他の技術グループ一覧」

\*徒手難度とダンスステップコンビネーションに組み合わせる手具操作は、一覧表の(各種具)どの操作でもよい(チャイルド特別ルール)

- ② 「 $R$  の基本価値と基準」

「 $R$  の追加基準一覧」

- ③ 申告例

## (3) 減点項目

減点	0.10	0.30	0.50
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽減点 小学生にふさわしくない曲、演技や選手の雰囲気にあっていない音楽の使用(チャイルド特別ルールE審判)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・難度のフォームの偏り →一括で減点(チャイルド特別ルールD審判)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申告書/演技に入れなくてはならない難度の過不足、各要素につき→一括で減点(チャイルド特別ルールD審判)</li> <li>・申告書/演技に3個より多く <math>R</math> が申告されている(5・6年生)</li> <li>・申告書/演技に1個より多く <math>R</math> が申告されている(3・4年生)</li> <li>・申告書/演技から1つのダンスステップコンビネーションが欠けている(D審判)</li> </ul>

### 【審判メモ】

・ミックス難度も可能であるが、万が一1難度と勘違いをして、追加の難度を申告して実施した場合は、一括で0.5の減点を行います。